

駐日本代表處 函

機關地址：日本東京都港區白金台5-20-2

承辦人：曾文琪

電話：03-3280-7916

電子信箱：wctseng@mofa.gov.tw

受文者：內政部戶政司

發文日期：中華民國114年7月11日

發文字號：日領字第1141014657號

速別：速件

密等及解密條件或保密期限：

附件：如文(附件1 1752570847_判決書及確定書範例.pdf)

主旨：有關國人在日離婚判決書驗證加註事，請查參。

說明：

一、奉外交部領事事務局本(114)年7月2日領三字第1145322026號函辦理，本處本年6月17日日領字第1141014516號函副本諒達。

二、上函略以，駐外館處係依照當地國法律，就離婚判決上登載之婚姻終止日或判決生效日，作為註記離婚(或判決)生效日期之準據。

三、以本處曾經手之令和6年(113年)某案件判決為例，查日本判決書並未明記離婚生效日期，僅載有「判決言渡し(宣判)日」，且當事人於限期內得上訴。倘無人上訴或上訴定讞，法院始能核發「判決確定證明書」。未來倘遇日本離婚判決案件，本處作法為：

(一)依司法院秘書長94年4月6日秘台廳家二字第0940006480號函及內政部同年4月20日台內戶字第0940005633號函示略以，戶政事務所辦理判決離婚登記，應檢附「離婚判決書」暨「判決確定證明書」。另經查日本「確定證明書」並未記載判決主文及勝(敗)訴，將建議民眾一併驗證為宜。

(二)驗證「離婚判決書」，並加註「符合行為地法，離婚

內政部戶政司



1140251799

114/07/15

判決日：OOOO年OO月OO日。應提憑判決書及判決確定證明書，於30日內向戶政機關辦理登記，以免逾期受處罰鍰」。

(三)驗證「判決確定證明書」，並加註「符合行為地法，離婚判決確定日：OOOO年OO月OO日。應提憑判決書及判決確定證明書，於30日內向戶政機關辦理登記，以免逾期受處罰鍰」。

四、檢送前述日本判決書及判決確定證明書範例如附件，上揭作法敬請各處參考。

正本：駐大阪辦事處、駐札幌辦事處、駐橫濱辦事處、駐福岡辦事處、駐那霸辦事處
副本：外交部領事事務局、內政部戶政司(均含附件)

114/07/15
08:57:30

裝



線



事件番号 令和 年（家本）第 号

離婚請求事件

原告

被告

確 定 証 明 書

上記当事者間の事件は、令和6年4月10日に確定したことを証明する。

令和6年4月10日

さいたま家庭裁判所人事訴訟係1係

裁判所書記官 正木 愛



令和6年3月22日判決言渡し 同日原本交付 裁判所書記官

令和 年(家ホ)第 号 離婚請求事件

口頭弁論終結の日 令和6年2月9日

判 決

国 籍 中国(台湾)

住 所

原 告

同 訴 訟 代 理 人 弁 護 士

国 籍

住 所

被 告

主 文

- 1 原告と被告とを離婚する。
- 2 訴訟費用は被告の負担とする。

事 実 及 び 理 由

- 1 原告は、主文同旨の判決を求め、その請求原因として別紙「請求の原因」に記載のとおり述べた。
- 2 被告は、原告の請求を棄却する旨の判決を求め、請求原因に対する認否として別紙「訴状に請求の原因等として記載されている事実について」に記載のとおり述べた。
- 3 証拠(甲1～甲8)及び弁論の全趣旨によれば、請求原因事実は全て認められる。他方、被告の主張する事実を裏付ける証拠や事情等は、見当たらない。

4 よって、主文のとおり判決する。

家庭裁判所家事部

裁判官

錦野 俊彦

